

# 大田区政に関する世論調査

平成 18 年 9 月実施

( 概要版 )

大田区では、区民の皆様のご意見を伺う方法の一つとして、昭和49年から「大田区政に関する世論調査」を実施しています。この小冊子は、その調査結果の概要をお知らせするものです。

調査にご協力いただいた皆様に心からお礼申し上げます。

平成 18 年 12 月

大田区経営管理部広報広聴課

《調査の内容》 印は本誌に取り上げたもの

## 1 定住性

- (1) 居住開始時期
- (2) 定住意向
- (3) 住みたい理由

## 2 どこもさわやか潤い<sup>まち</sup>都市づくり

- (1) 生活環境の満足度
- (2) ごみ減量のため工夫していること
- (3) 自転車の利用頻度
- (4) 放置自転車をなくすための取り組み
- (5) 駅周辺や繁華街の吸い殻の散乱について

## 3 いつもいきいき安心生活づくり

- (1) 現住居の建築時期
- (2) 大地震発生時の現住居倒壊に対する不安感
- (3) 震災対策の実施状況
- (4) 耐震診断や耐震改修工事を行っていない理由
- (5) 耐震診断や耐震改修工事の費用の一部助成や無利子融資制度の認知度
- (6) 健康のため気をつけていること
- (7) 高齢者支援のために優先して取り組むべき施策
- (8) 高齢者が地域で安心して暮らしていくために協力できること
- (9) 子どもを犯罪から守るための取り組み
- (10) 子育て支援のために優先して取り組むべき施策

## 4 みんなはつらつ輝き地域づくり

- (1) 中学校までの学校教育に期待すること
- (2) 家庭教育で大切なこと
- (3) ボランティア活動への参加経験・参加意向
- (4) 参加したいボランティア活動
- (5) ボランティア活動に参加するうえで支障となること
- (6) 地元の商店街に対する希望

## 5 新しい区政の進め方

- (1) 区役所の窓口対応に期待するもの
- (2) 施策要望
- (3) 新しい区政の進め方に対する意識
- (4) 区の制度・施策・施設の周知度

### 調査概要

対象者・区内に居住する満20歳以上の男女個人

対象数・2,000人

回収数・1,432

回収率・71.6%

抽出方法・層化二段無作為抽出法

調査方法・調査員による個別面接聴取法

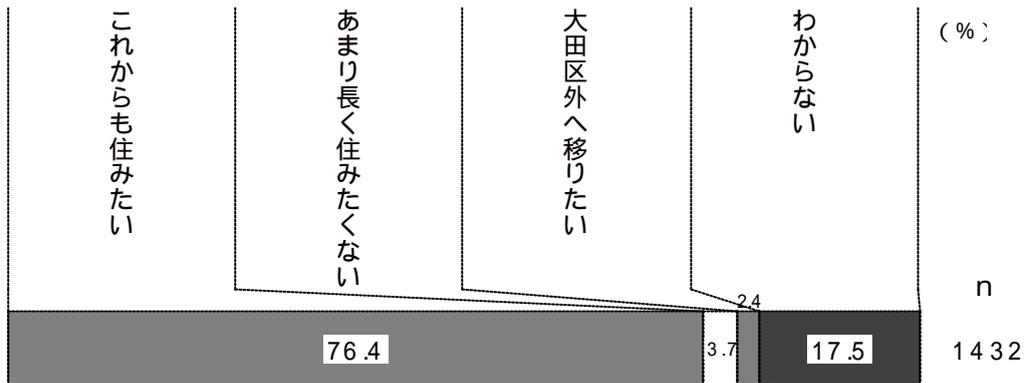
### グラフの見方

- ・ nはその設問の回答者数を表す。
- ・ 集計は小数点以下第2位を四捨五入してあるので、合計が100%にならない場合がある。
- ・ 複数回答の場合は、合計が100%を超えることがある。

# 1 定住性

## 定住意向 …「これからも住みたい」が7割半ば

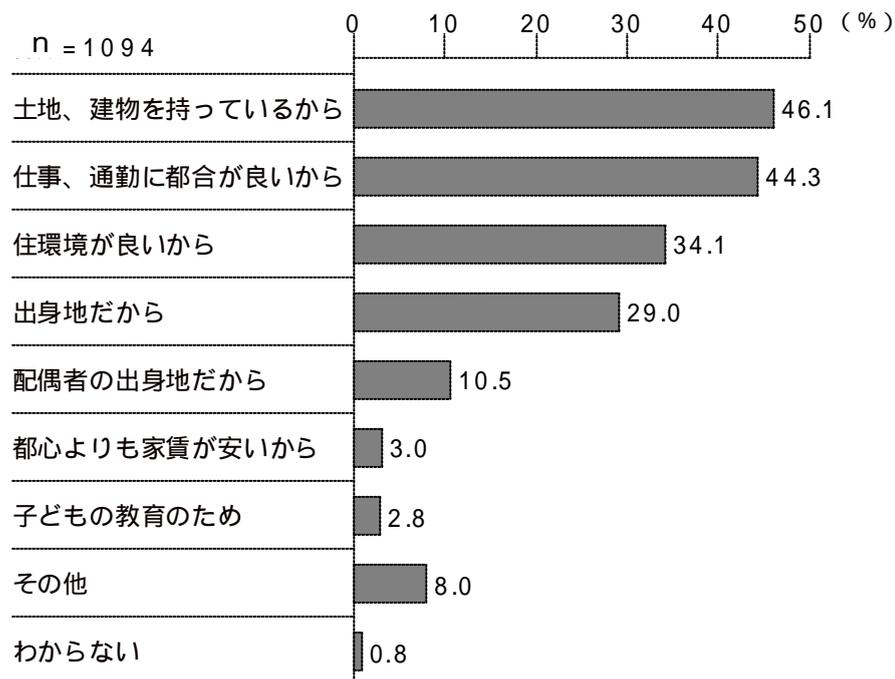
大田区に「これからも住みたい」(76.4%)と答えた定住意向の人は7割半ばで、「あまり長く住みたくない」(3.7%)と「大田区外へ移りたい」(2.4%)を合わせた転出意向のある人は6.1%となっている。



## 住みたい理由

…「土地、建物を持っているから」、「仕事、通勤に都合がよいから」がともに4割半ば

大田区に「これからも住みたい」と答えた人(1,094人)に住みたい理由を聞いたところ、「土地、建物を持っているから」(46.1%)と「仕事、通勤に都合が良いから」(44.3%)がともに4割半ばで多く、次いで「住環境が良いから」(34.1%)、「出身地だから」(29.0%)などの順となっている。

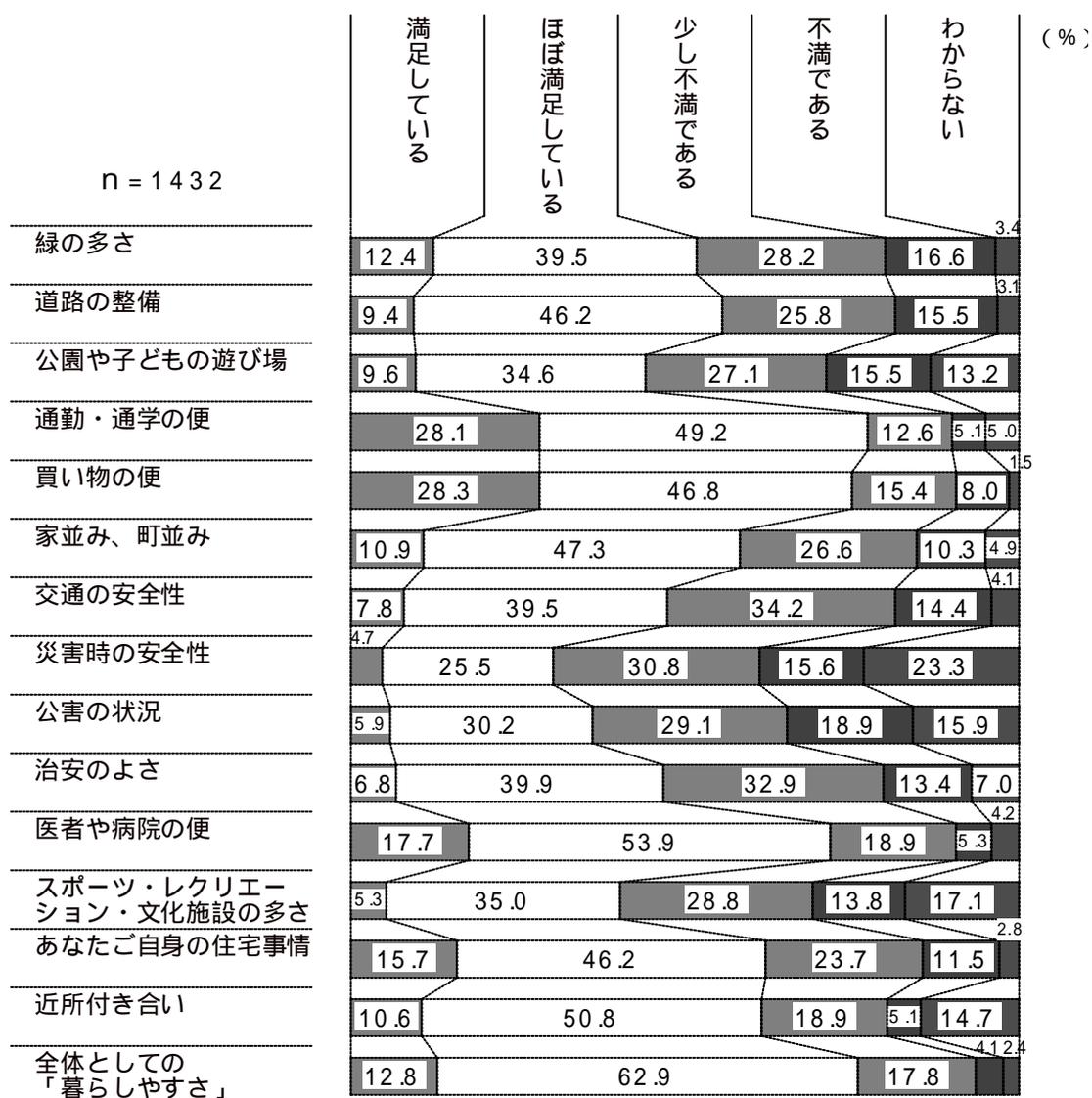


## 2 どこもさわやか潤い都市づくり

### 生活環境の満足度

…全体としての「暮らしやすさ」に『満足(計)』している人が7割半ば

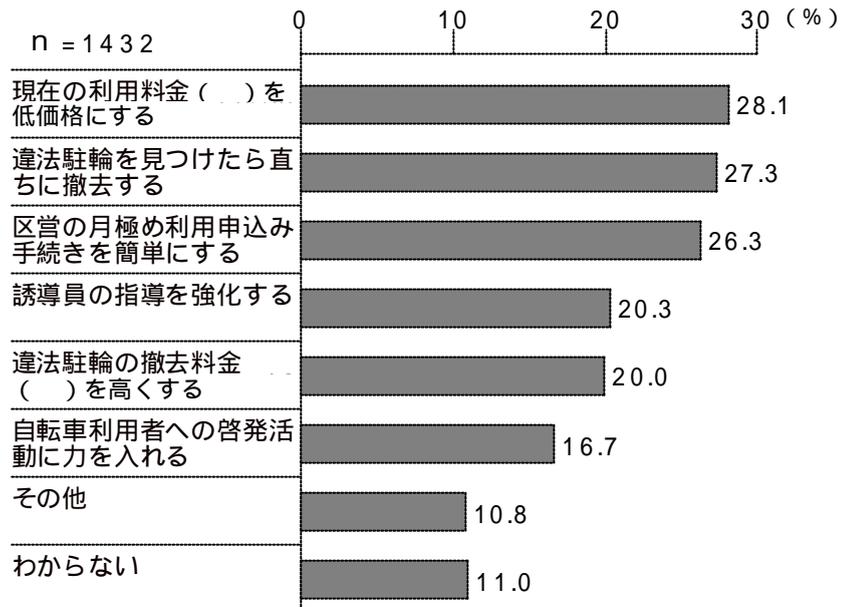
生活環境の満足度を15項目に分けて聞いたところ、総合満足度といえる<全体としての「暮らしやすさ」>については、「満足している」(12.8%)と「ほぼ満足している」(62.9%)を合わせた『満足(計)』(75.7%)が7割半ばを占めている。個別の14項目についてみると、『満足(計)』は、<通勤・通学の便>で8割近くと最も多く、<買い物の便>は7割半ば、<医者や病院の便>も7割を超えている。「少し不満である」と「不満である」を合わせた『不満(計)』は、<公害の状況>と<交通の安全性>で5割近くと多く、<災害時の安全性>と<治安のよさ>でも4割半ばを占めている。



## 放置自転車をなくすための取り組み

...「現在の利用料金を低価格にする」、「違法駐輪を見つけたら直ちに撤去する」が3割近く

放置自転車をなくすためにどのような取り組みが必要だと思うか聞いたところ、「現在の利用料金を低価格にする」(28.1%)と「違法駐輪を見つけたら直ちに撤去する」(27.3%)がともに3割近くで多く、次いで「区営の月極め利用申込み手続きを簡単にする」(26.3%)、「誘導員の指導を強化する」(20.3%)、「違法駐輪の撤去料金を高くする」(20.0%)などの順となっている。



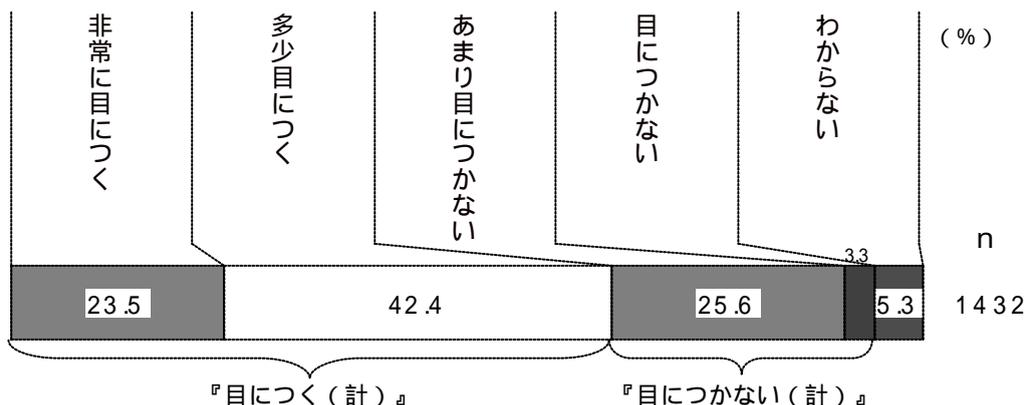
利用料金(月極 1000円~2000円、1日 100円)

撤去料金(自転車 3000円、原付 5000円)

## 駅周辺や繁華街の吸殻の散乱について

...『目に付く(計)』が6割半ば

駅周辺や繁華街の吸殻の散乱の状況について聞いたところ、「非常に目につく」(23.5%)と「多少目につく」(42.4%)を合わせた『目につく(計)』(65.9%)が6割半ば、「目につかない」(3.3%)と「あまり目につかない」(25.6%)を合わせた『目につかない(計)』(28.9%)が3割近くとなっている。

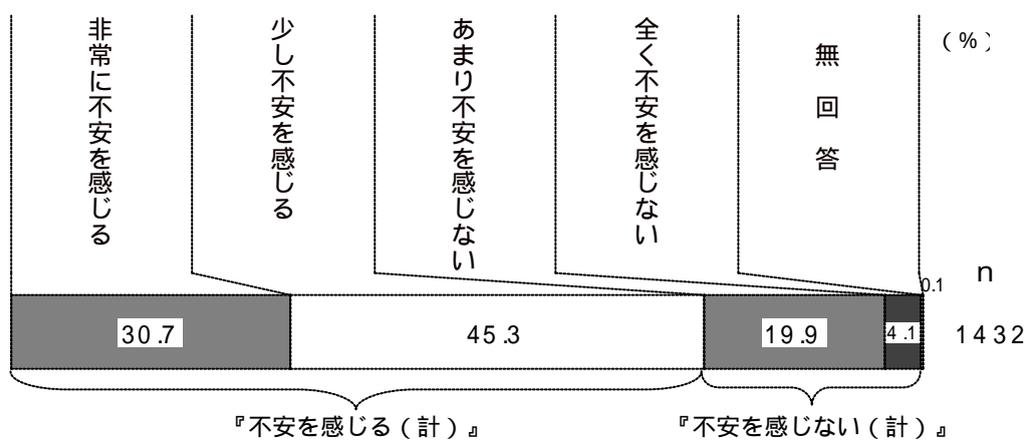


### 3 いつもいきいき安心生活づくり

#### 大地震発生時の現住居倒壊に対する不安感

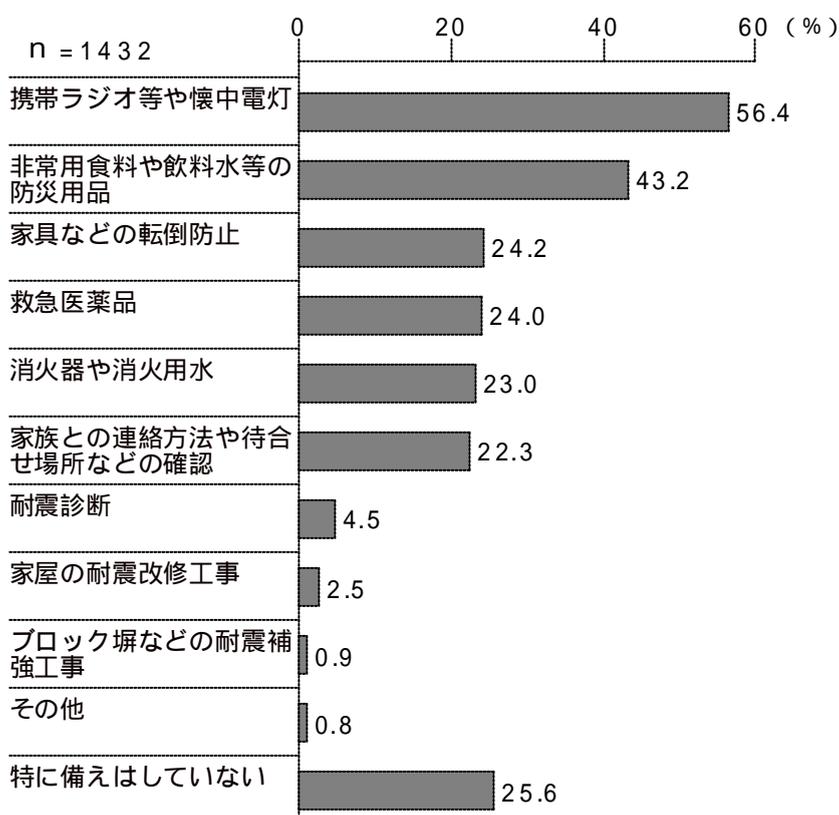
...非常に不安を感じる人はほぼ3割

阪神・淡路大震災なみの大地震が起きたとき、現在住んでいる建物が倒壊するかもしれないという不安があるか聞いたところ、「非常に不安を感じる」(30.7%)がほぼ3割、「少し不安を感じる」(45.3%)が4割半ばで、この2つを合わせた『不安を感じる(計)』(76.0%)は7割半ばを占めている。「あまり不安を感じない」(19.9%)と「全く不安を感じない」(4.1%)を合わせた『不安を感じない(計)』(24.0%)は2割半ばである。



#### 震災対策の実施状況 ... 「携帯ラジオ等や懐中電灯」が5割半ば

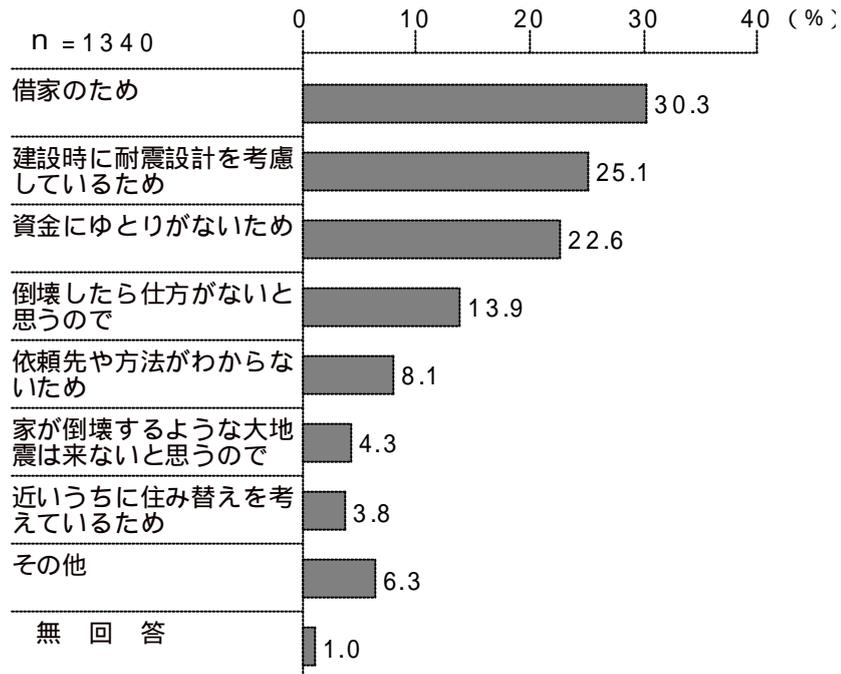
震災対策の実施状況について聞いたところ、「携帯ラジオ等や懐中電灯」(56.4%)が5割半ばと最も多く、次いで「非常用食料や飲料水等の防災用品」(43.2%)、「家具などの転倒防止」(24.2%)、「救急医薬品」(24.0%)、「消火器や消火用水」(23.0%)、「家族との連絡方法や待合せ場所などの確認」(22.3%)などの順となっている。また、大地震に対して備えていることを合わせた『何らかの備えをしている(計)』(74.4%)人は7割半ばになっている。



## 耐震診断や耐震改修工事を行っていない理由

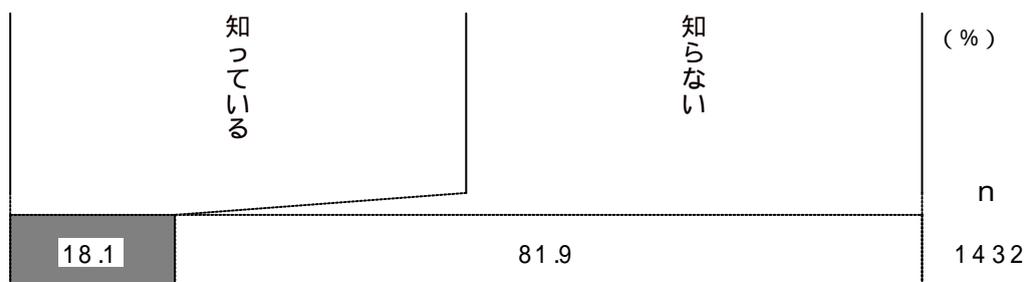
…「借家のため」が3割

震災対策として「耐震診断」と「家屋の耐震改修工事」のどちらも行っていない人（1,340人）に、その理由を聞いたところ、「借家のため」（30.3%）が3割で最も多く、次いで「建設時に耐震設計を考慮しているため」（25.1%）、「資金にゆとりがないため」（22.6%）、「倒壊したら仕方がないと思うので」（13.9%）、「依頼先や方法がわからないため」（8.1%）などの順となっている。



## 耐震診断や耐震改修工事の費用の一部助成や無利子融資制度の認知度 …知らない人が8割を超える

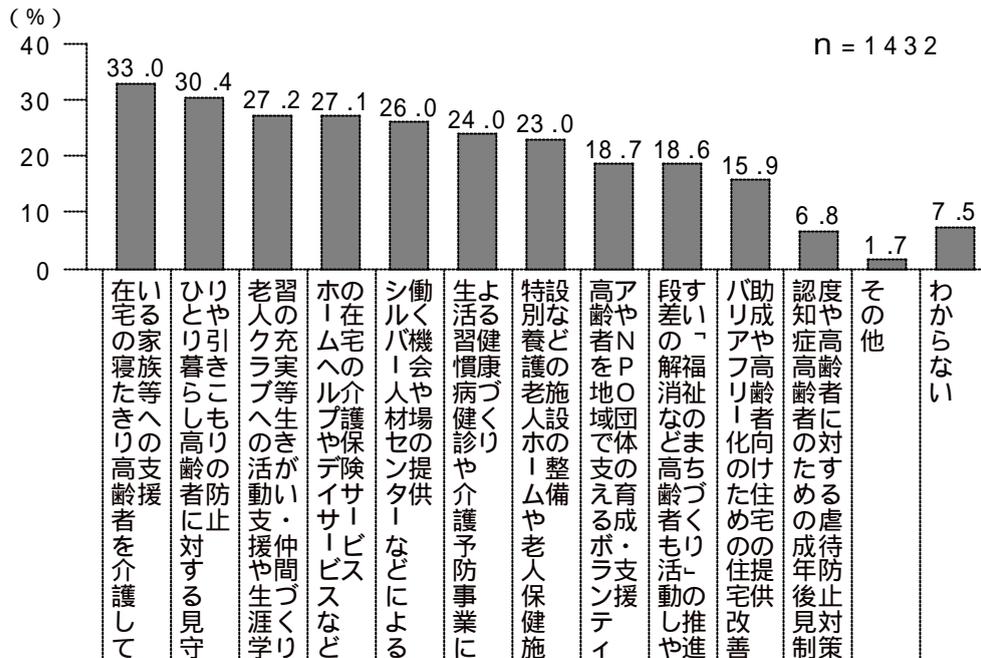
耐震診断や耐震改修工事の費用の一部助成や無利子融資制度の認知度について聞いたところ、「知っている」（18.1%）は2割近くで、「知らない」（81.9%）が8割を超えて多くなっている。



## 高齢者支援のために優先して取り組むべき施策

…「在宅の寝たきり高齢者を介護している家族等への支援」が3割を超える

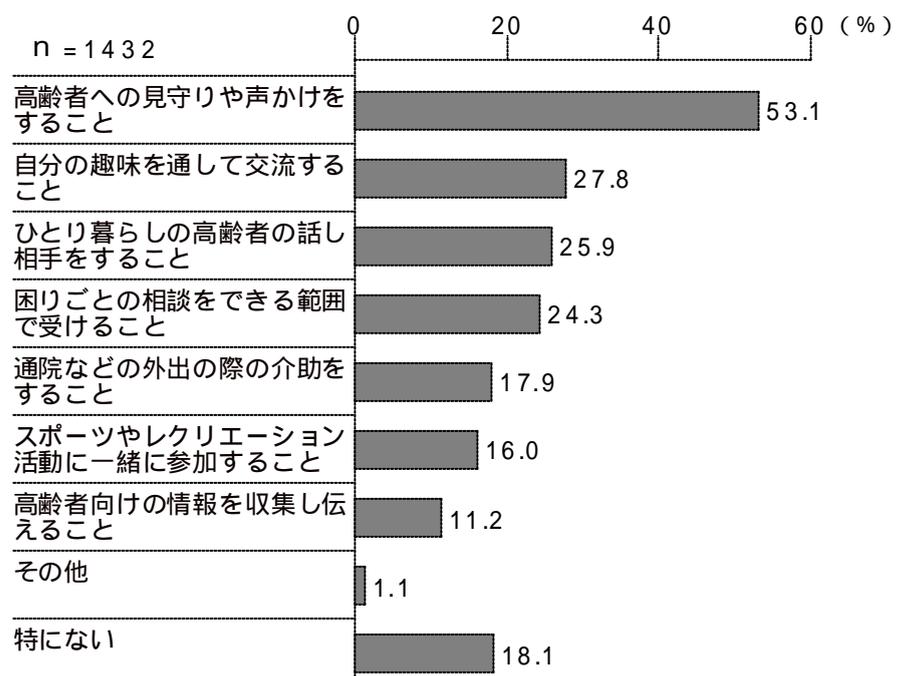
高齢者支援のために優先して取り組むべき施策は何か聞いたところ、「在宅の寝たきり高齢者を介護している家族等への支援」（33.0%）が3割を超えて最も多く、次いで「ひとり暮らし高齢者に対する見守りや引きこもりの防止」（30.4%）、「老人クラブへの活動支援や生涯学習の充実などの生きがい・仲間づくり」（27.2%）、「ホームヘルプやデイサービスなどの在宅の介護保険サービス」（27.1%）などの順となっている。



## 高齢者が地域で安心して暮らしていくために協力できること

…「高齢者への見守りや声かけをすること」が5割を超える

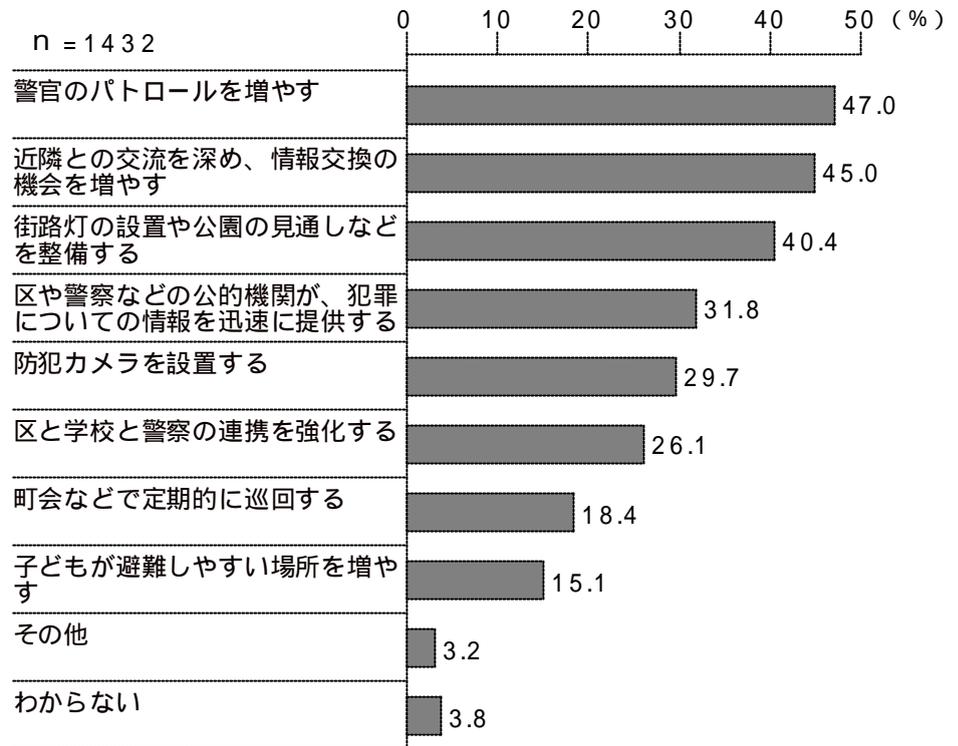
高齢者が地域で安心して暮らしていくために協力できることは何か聞いたところ、「高齢者への見守りや声かけをすること」（53.1%）が5割を超えて最も多く、次いで「自分の趣味を通して交流すること」（27.8%）、「ひとり暮らしの高齢者の話し相手をする」（25.9%）、「困りごとの相談をできる範囲で受けること」（24.3%）、「ひとり暮らしの高齢者の話し相手をする」（25.9%）、「困りごとの相談をできる範囲で受けること」（24.3%）、「通院などの外出の際の介助をする」（17.9%）などの順となっている。



## 子どもを犯罪から守るための取り組み

…「警官のパトロールを増やす」が5割近く

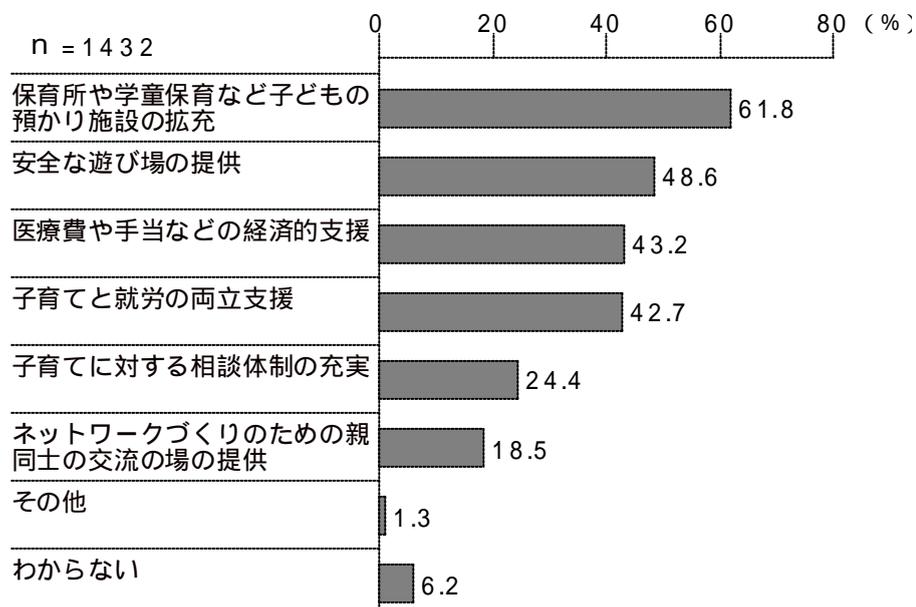
子どもを犯罪から守るために特に有効だと思うことは何か聞いたところ、「警官のパトロールを増やす」(47.0%)が5割近くで最も多く、次いで「近隣との交流を深め、情報交換の機会を増やす」(45.0%)、「街路灯の設置や公園の見通しなどを整備する」(40.4%)、「区や警察などの公的機関が、犯罪についての情報を迅速に提供する」(31.8%)、「防犯カメラを設置する」(29.7%)などの順となっている。



## 子育て支援のために優先して取り組むべき施策

…「保育所や学童保育など子どもの預かり施設の拡充」が6割を超える

子育て支援のために優先して取り組むべき施策は何か聞いたところ、「保育所や学童保育など子どもの預かり施設の拡充」(61.8%)が6割を超えて最も多く、次いで「安全な遊び場の提供」(48.6%)、「医療費や手当などの経済的支援」(43.2%)、「子育てと就労の両立支援」(42.7%)、「子育てに対する相談体制の充実」(24.4%)などの順となっている。

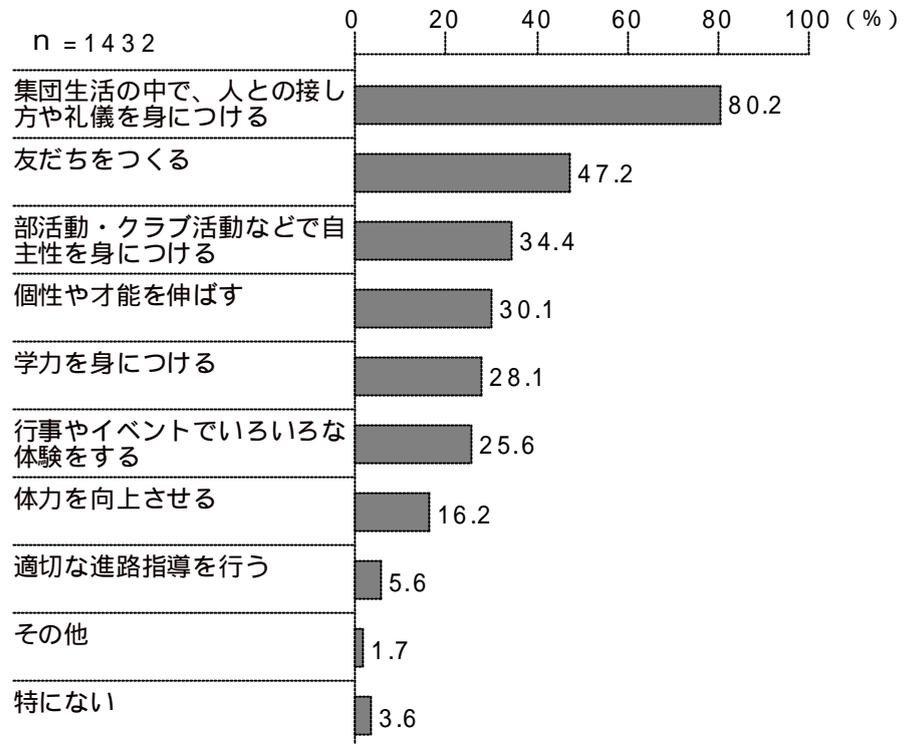


## 4 みんなはつらつ輝き地域づくり

### 中学校までの学校教育に期待すること

…「集団生活の中で、人との接し方や礼儀を身につける」が8割

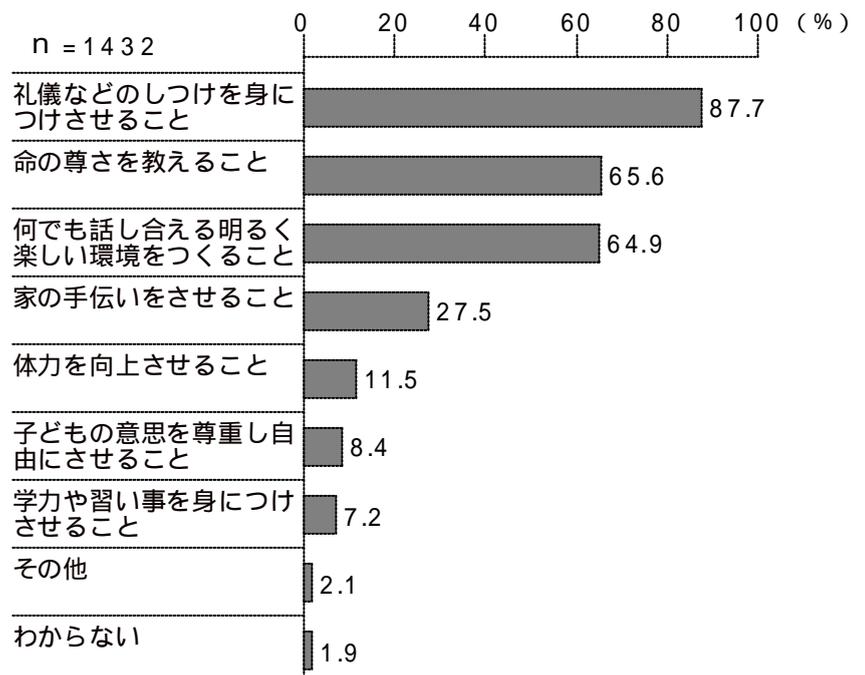
中学校までの学校教育に期待することは何か聞いたところ、「集団生活の中で、人との接し方や礼儀を身につける」(80.2%)が8割で特に多く、次いで「友だちをつくる」(47.2%)、「部活動・クラブ活動などで自主性を身につける」(34.4%)、「個性や才能を伸ばす」(30.1%)、「学力を身につける」(28.1%)などの順となっている。



### 家庭教育で大切なこと

…「礼儀などのしつけを身につけさせること」が9割近く

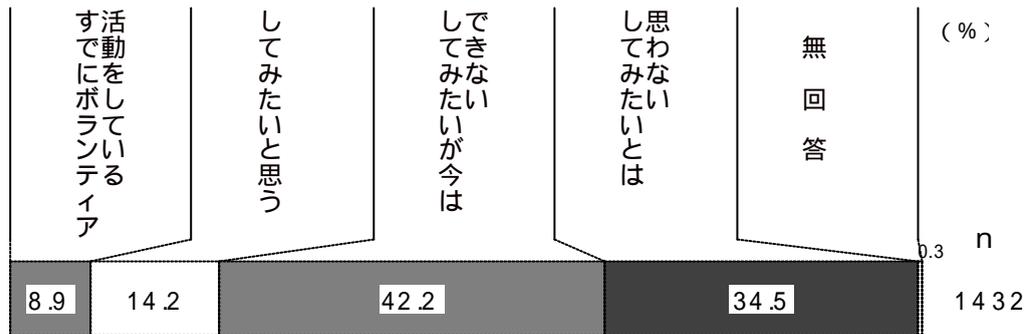
家庭教育で大切なことは何か聞いたところ、「礼儀などのしつけを身につけさせること」(87.7%)が9割近くで特に多く、次いで「命の尊さを教えること」(65.6%)と「何でも話し合える明るく楽しい環境をつくること」(64.9%)の2項目がともに6割半ばを占めている。以下、「家の手伝いをさせること」(27.5%)、「体力を向上させること」(11.5%)などの順となっている。



## ボランティア活動への参加経験・参加意向

...すでにボランティア活動をしている人は1割近く、してみたいと思う人は1割半ば

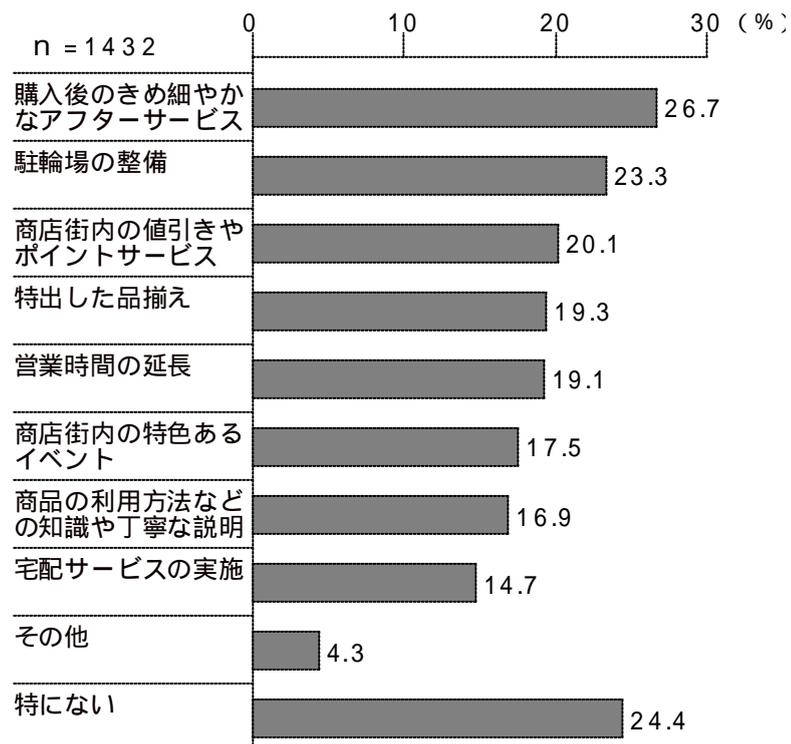
ボランティア活動への参加経験・参加意向について聞いたところ、「すでにボランティア活動をしている」(8.9%)は1割近く、「してみたいと思う」(14.2%)は1割半ばで、この2つを合わせた『参加意向(計)』(23.1%)は2割を超えている。「してみたいが今はできない」(42.2%)は4割を超えており、「してみたいとは思わない」(34.5%)は3割半ばである。



## 地元の商店街に対する希望

...「購入後のきめ細やかなアフターサービス」が3割近く

地元の商店街に望むことは何か聞いたところ、「購入後のきめ細やかなアフターサービス」(26.7%)が3割近くを占めて最も多くなっているが、「駐輪場の整備」(23.3%)、「商店街内の値引きやポイントサービス」(20.1%)、「特出した品揃え」(19.3%)、「営業時間の延長」(19.1%)などと比べて大きな差はなく、地元の商店街に望むことは多岐に分かれている。

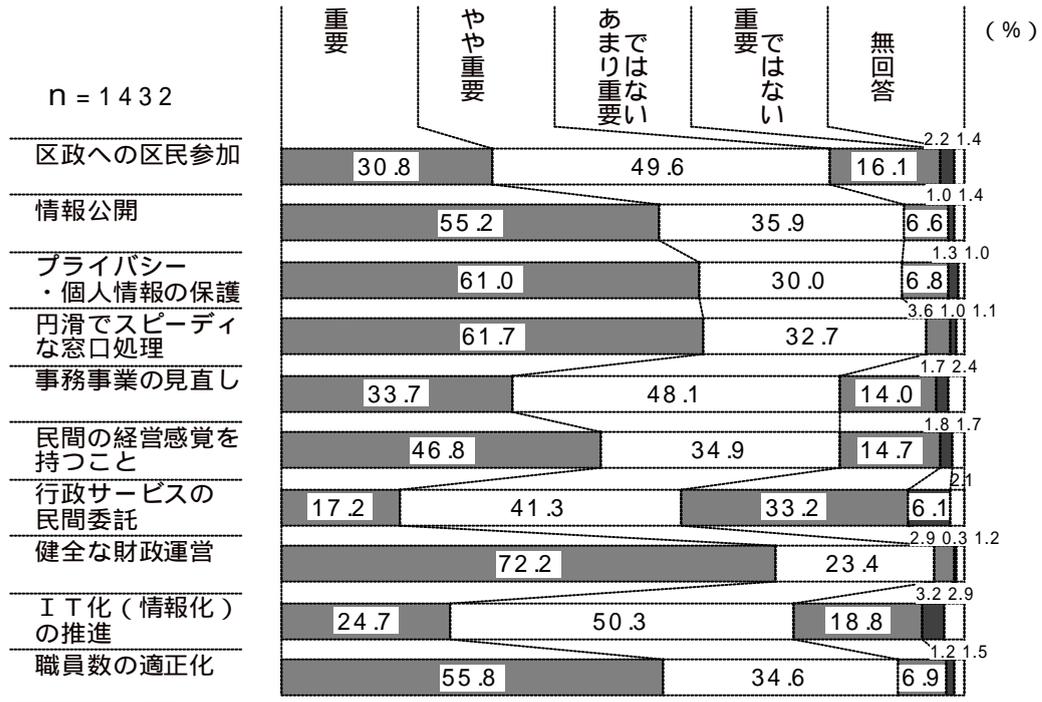


## 5 新しい区政の進め方

### 新しい区政の進め方に対する意識

... <健全な財政運営>を「重要」と考える人が7割を超える

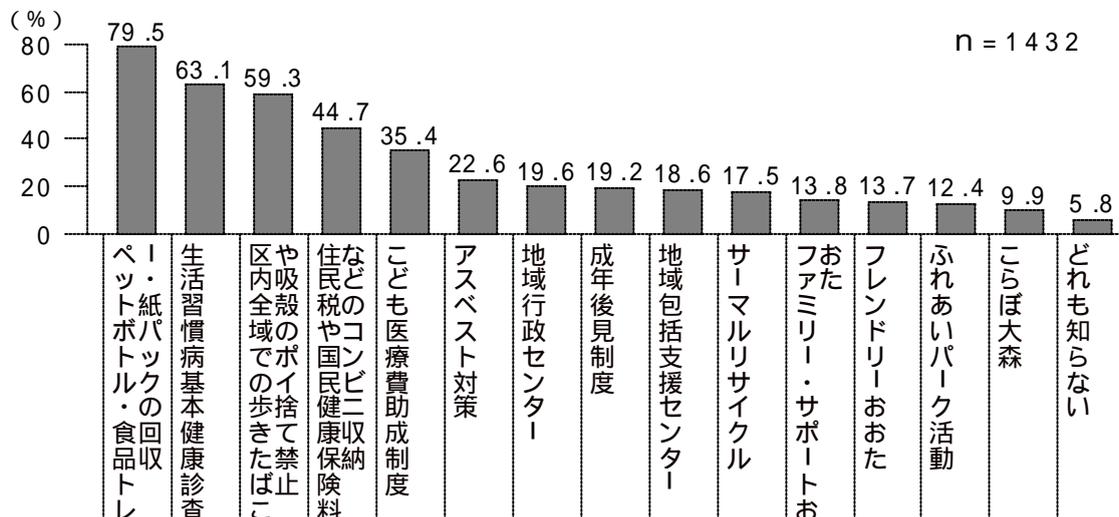
新しい区政の進め方について、10個の各項目ごとにその重要性を聞いたところ、「重要」と答えた人の割合が最も高いのは<健全な財政運営>(72.2%)で7割を超えている。次いで<円滑でスピーディな窓口処理>(61.7%)、<プライバシー・個人情報の保護>(61.0%)などの順となっている。「重要」と「やや重要」を合わせた『重要(計)』でみると、<行政サービスの民間委託>(58.5%)と<IT化(情報化)の推進>(75.0%)以外の8項目でいずれも8割を超えている。



### 区の制度・施策・施設の周知度

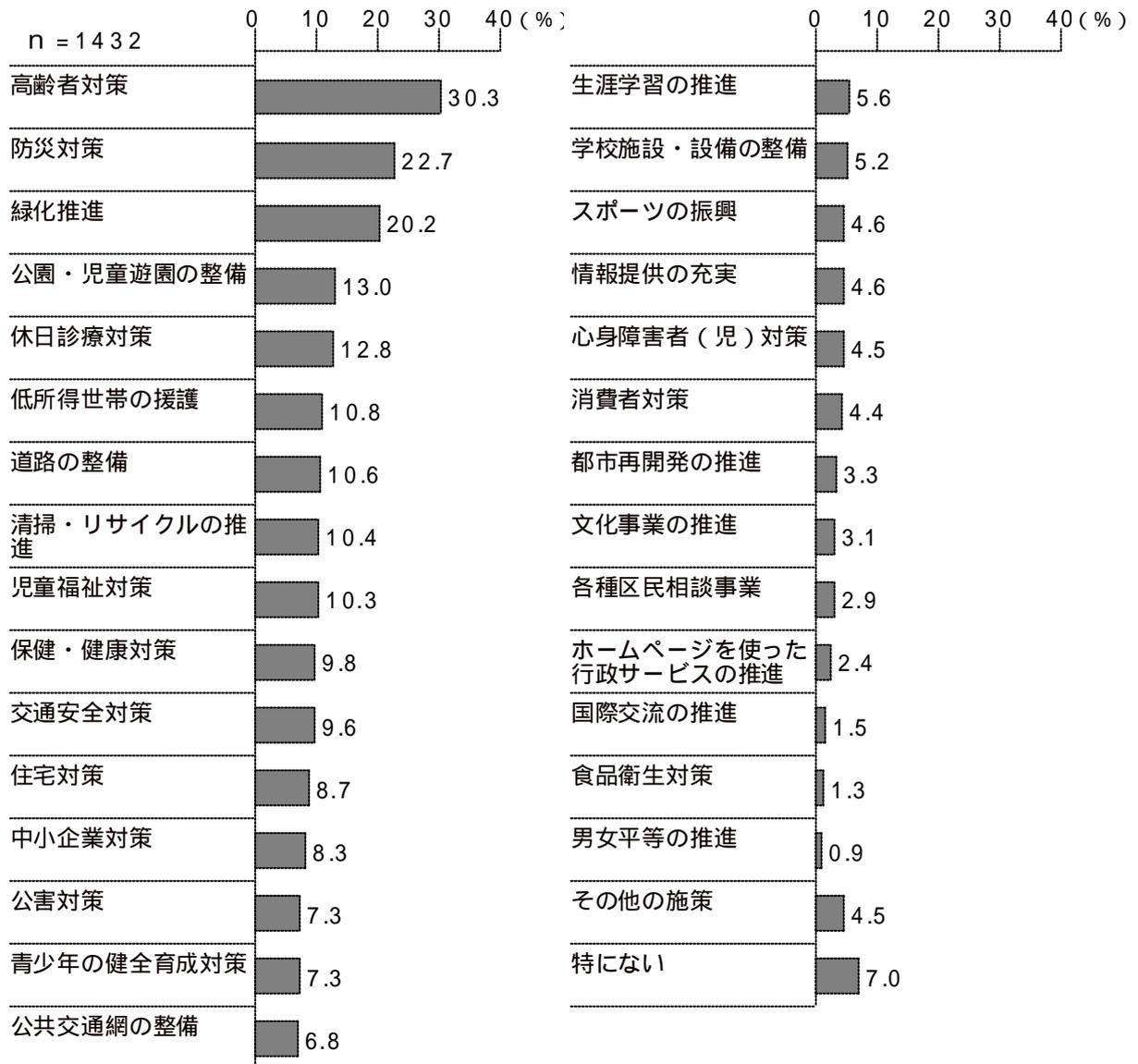
...「ペットボトル・食品トレイ・紙パックの回収」が8割

14項目挙げた区の制度・施策・施設について、知っているものを聞いたところ、「ごみの減量と資源のリサイクルのための『ペットボトル・食品トレイ・紙パック』の回収」(79.5%)が8割で最も多く、次いで「40歳以上の区民を対象とした『生活習慣病基本健康診査』」(63.1%)、「区内全域での歩きたばこ吸殻のポイ捨て禁止」(59.3%)などの順となっている。



## 施策要望 … 「高齢者対策」が3割

特に力を入れてほしい施策を聞いたところ、「高齢者対策」(30.3%)が3割で最も多く、次いで「防災対策」(22.7%)、「緑化推進」(20.2%)、「公園・児童遊園の整備」(13.0%)、「休日診療対策」(12.8%)などの順となっている。



### 大田区政に関する世論調査 概要版

平成 18 年 12 月発行

発行 大田区 経営管理部広報広聴課

東京都大田区蒲田 5 丁目 13 番 14 号

電話 03 - 5744 - 1111(代)